

日薬連発第 715 号
2026 年 9 月 30 日

加盟団体 殿

日本製薬団体連合会

第十九改正日本薬局方正誤表の送付について（その 2）

標記について、令和 8 年 9 月 30 日付け事務連絡にて厚生労働省 医薬局 医薬品審査管理課より通知がありました。

つきましては、本件につき貴会会員に周知徹底いただきたく、ご配慮の程よろしくお願い申し上げます。

事 務 連 絡
令和 8 年 9 月 30 日

各関係団体等 御中

厚生労働省医薬局医薬品審査管理課

第十九改正日本薬局方正誤表の送付について（その2）

標記について、別添写しのとおり各都道府県衛生主管部（局）薬務主管課宛に連絡しましたので、お知らせいたします。



事 務 連 絡
令和 8 年 9 月 30 日

各都道府県衛生主管部（局）薬務主管課 御中

厚生労働省医薬局医薬品審査管理課

第十九改正日本薬局方正誤表の送付について（その 2）

第十九改正日本薬局方（令和 8 年厚生労働省告示第 193 号）につきまして、一部に誤植等がありましたので別紙のとおり正誤表を送付いたします。

第十九改正日本薬局方告示版に対する正誤表（その2）

1. まえがき

該当箇所	頁、左右	↓/↑、行	正	誤
まえがき	4	↓1	「9.01（2） <u>国立健康危機管理研究機構</u> が製造する標準品」から削り、	「9.01（2） <u>国立感染症研究所</u> が製造する標準品」から削り、

2. 一般試験法

該当箇所	頁、左右	↓/↑、行	正	誤
6.09 崩壊試験法	169、左	↑10	計18個の試料の <u>うち</u> 16個以上の試料が崩壊した場合、	計18個の試料うち16個以上の試料が崩壊した場合、
6.14 吸入剤の送達量均一性試験法	180	表 6.14-1	コード H 詳細 最大 $C_x \geq 1$ で制御可能な調節バルブ	コード H 詳細 最大 $C_y \geq 1$ で制御可能な調節バルブ
7.02 プラスチック製医薬品容器試験法	198、右	↑19	(13) 強熱残分 〈2.44〉 0.1%以下(5 g) <u>、</u>	(13) 強熱残分 〈2.44〉 0.1%以下(5 g)
9.41 試薬・試液 塩酸モルヒネ、定量用	252、右	↑25	塩酸モルヒネ、定量用 モルヒネ塩酸塩水和物、定量用 <u>を</u> 参照。	塩酸モルヒネ、定量用 モルヒネ塩酸塩水和物、定量用 参照。
9.41 試薬・試液 キノノーゲン	261、左	↓18	(ii) <u>試料</u> 溶液0.5 mLを30±0.5℃で20分間加温し、	(ii) <u>試験</u> 溶液0.5 mLを30±0.5℃で20分間加温し、
9.41 試薬・試液 ケノデオキシコール酸、薄層クロマトグラフィー用	271、左	↑3	薄層 <u>板</u> を風乾する。	薄層 <u>版</u> を風乾する。
9.41 試薬・試液 抗ブラジキニン抗体試液	272、左	↑2	ウシ血清アルブミン15 mg _、	ウシ血清アルブミン15 mg _、

9.41 試薬・試液 コール酸，薄層クロマトグラフィー用	273、右	↓ 21	薄層板を風乾する．	薄層版を風乾する．
9.41 試薬・試液 サリチル酸イソブチル	279、左	↓ 10	10%の割合で被覆したものを充填する．	10%の割合で被覆したものを充填する．
9.41 試薬・試液 シラスタチンアンモニウム，定量用	299、左	↓ 13	水を加えて正確に100 mLとし，	水を加えて正確に100 mLとし，
9.41 試薬・試液 ダクロニウム臭化物，薄層クロマトグラフィー用	308、左	↑ 17	純度試験 類縁物質 本品10 mgをエタノール(95) 2 mLに溶かし，試料溶液とする．	純度試験 類縁物質 本品10 mgをエタノール(95) 2 mLに溶かし，試液溶液とする．
9.41 試薬・試液 トリス緩衝液，pH 6.8	325、右	↓ 12	水を加えて1000 mLとする．	水を加えて1000 mLとする
9.41 試薬・試液 2,4,6-トリニトロベンゼンスルホン酸二水和物	326、右	↓ 1	同様の方法で空試験を行い，補正する．	同様の方法で空試験を行い，補正する．
9.41 試薬・試液 V8 プロテアーゼ	361、左	↑ 21	<i>Staphylococcus aureus</i> 株から得たプロテアーゼ．	<i>Staphylococcus aureus</i> 株から得たプロテアーゼ．
9.41 試薬・試液 ペオニフロリン，薄層クロマトグラフィー用	364、左	↑ 15	純度試験 類縁物質 本品1 mgをとり，	純度試験 類縁物質 本品1 mgをとり，
9.41 試薬・試液 リン酸塩緩衝液，マイクロプレート洗浄用	394、右	↓ 5	リン酸水素二ナトリウム十二水和物9.48 g，塩化ナトリウム52.6 g，	リン酸水素二ナトリウム十二水和物9.48 g，塩化ナトリウム52.6 g，
9.42 クロマトグラフィー用担体／充填剤 液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリコーンポリマー被覆シリカゲル	401、右	↑ 5	オクタデシルシリル化シリコーンポリマー被覆シリカゲル，液体クロマトグラフィー用 を参照．	オクタデシルシリル化シリコーンポリマー被覆シリカゲル，液体クロマトグラフィー用 を参照．

3. 医薬品各条（化学薬品等）

該当箇所	頁、左右	↓/↑、行	正	誤
アセブトロール塩酸塩	440、左	↓ 6	<i>N</i> -{3-Acetyl-4-[(2 <i>RS</i>)-2-hydroxy-3-(propan-2-ylamino)propoxy]phenyl}butanamide monohydrochloride	<i>N</i> -{3-Acetyl-4-[(2 <i>RS</i>)-2-hydroxy-3-(propan-2-ylaminopropoxy)phenyl}butanamide monohydrochloride
アヘンアルカロイド塩酸塩注射液	461、左	↓ 16	本品は定量するとき、モルヒネ(C ₁₇ H ₁₉ NO ₃ : 285.34) 0.90 ～ 1.10 <u>w/v%</u> を含む。	本品は定量するとき、モルヒネ(C ₁₇ H ₁₉ NO ₃ : 285.34) 0.90 ～ 1.10を含む。
アレンドロン酸ナトリウム水和物	506、左	↑ 20	性状 本品は白色の結晶性の粉末である。	性状 本品は白色の結晶性の粉末である。
イルベサルタン	571、左	↓ 9	本品は定量するとき、換算した脱水物に対し、イルベサルタン(C ₂₅ H ₂₈ N ₆ O) 99.0 ～ 101.0% <u>を</u> 含む。	本品は定量するとき、換算した脱水物に対し、イルベサルタン(C ₂₅ H ₂₈ N ₆ O) 99.0 ～ 101.0%含む。
インデノロール塩酸塩	591、左	↑ 8、9	本品は、(2 <i>RS</i>)-1-(3 <i>H</i> -インデン-4-イルオキシ)-3-(<u>プロパン-2-イルアミノ</u>) <u>プロパン-2-オール</u> -塩酸塩と(2 <i>RS</i>)-1-(3 <i>H</i> -インデン-7-イルオキシ)-3-(<u>プロパン-2-イルアミノ</u>) <u>プロパン-2-オール</u> -塩酸塩の混合物である。	本品は、(2 <i>RS</i>)-1-(3 <i>H</i> -インデン-4-イルオキシ)-3-(<u>1-メチルエチル</u>) <u>アミノプロパン-2-オール</u> -塩酸塩と(2 <i>RS</i>)-1-(3 <i>H</i> -インデン-7-イルオキシ)-3-(<u>1-メチルエチル</u>) <u>アミノプロパン-2-オール</u> -塩酸塩の混合物である。
エプレレノン	651、右	↓ 16	紫外可視吸光度測定法〈2.24〉により吸収スペクトルを測定し、	紫外可視吸光度測定法〈2.24〉により吸収スペクトルを測定し、
オキシトシン注射液	697、左	↓ 1	含む液を調製する。	含む液を調整する。
カモスタットメシル酸塩錠	727、右	↑ 2	紫外可視吸光度測定法〈2.24〉により試験を行い、	紫外可視吸光度測定法〈2.24〉により試験を行い、
カンデサルタン シレキセチル・ヒドロクロロチアジド錠	758、右	↑ 1	<i>Ms</i> : 乾燥物に換算したヒドロクロロ <u>チ</u> アジド標準品の秤取量(mg)	<i>Ms</i> : 乾燥物に換算したヒドロクロロ <u>ジ</u> アジド標準品の秤取量(mg)
クロナゼパム錠	815、右	↓ 22	カラム : 内径 4.6 mm, 長さ 15 cm のステンレス管に 5 μm の液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充填する。	カラム : 内径 4.6 mm, 長さ 15 cm のステンレス管に 5 μm の液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充填する。
クロルフェニラミンマレイン酸塩錠	839、右	↑ 19	定量法 本品 20 個以上をとり、その質量を精密に量り、粉末とする、	定量法 本品 20 個以上をとり、その質量を精密に量り、粉末とする、

クロルフェネシンカルバミン酸エステル	843、右	↓ 2	0.1 mol/L 水酸化カリウム・エタノール試液 1 mL =24.57 <u>mg</u> C ₁₀ H ₁₂ ClNO ₄	0.1 mol/L 水酸化カリウム・エタノール試液 1 mL =24.57 C ₁₀ H ₁₂ ClNO ₄
コカイン塩酸塩	868、左	↑ 10	紫外可視吸光度測定法 (2.24)	紫外可視吸光度測定法 (2.25)
シタグリブチンリン酸塩水和物	926、右	↓ 14	類縁物質 A(鏡像異性体) : (3 <i>S</i>)-3-Amino-1-[3-(trifluoromethyl)-5,6-dihydro[1,2,4]triazolo[4,3- <i>a</i>]pyrazin-7(8 <i>H</i>)-yl]-4-(2,4,5-trifluorophenyl)butan-1-one	類縁物質 A(鏡像異性体) : (3 <i>S</i>)-3-Amino-1-[3-(trifluoromethyl)-5,6-dihydro[1,2,4]triazolo[4,3- <i>a</i>]pyrazin-7(8 <i>H</i>)-yl]-4-(2,4,5-trifluorophenyl)butan-1-one
ジノプロスト	934、右	↑ 16	液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充填する。	液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲル充填する。
ジフェンヒドラミン・フェノール・亜鉛華リニメント	943、左	↓ 12	(1) 本品 3 g に	(1) 本品は 3 g に
ジメルカプロール	955、左	↑ 10	(2) 臭化物 本品 2.0 g に	(2) 臭化物 品 2.0 g に
シロドシン錠	977、左	↑ 1	液体クロマトグラフィー (2.01)	液体クロマトグラフ <u>フ</u> ィー (2.01)
シンバスタチン	981、右	↓ 20	シンバスタ <u>チ</u> ン(C ₂₅ H ₃₈ O ₅)の量(mg)= $M_s \times A_T / A_s$	シンバスタ <u>チ</u> タン(C ₂₅ H ₃₈ O ₅)の量(mg)= $M_s \times A_T / A_s$
ゾピクロン	1104、左	↓ 8-9	約 0.5 の類縁物質 <u>C</u> ,	約 0.5 の類縁物 C,
タムスロシン塩酸塩	1122、右	↑ 21	液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充填する。	液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲル充填する。
炭酸マグネシウム	1134、右	↓ 21	純度試験(3)で得た酸化カルシウム(CaO)に対応する 0.05 mol/L エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム液の量を差し引く。	純度試験(5)で得た酸化カルシウム(CaO)に対応する 0.05 mol/L エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム液の量を差し引く。
タンニン酸	1137、右	↑ 8	熱湯 15 mL に溶かすとき、 <u> </u> 液は混濁しても僅かである。	熱湯 15 mL に溶かすとき、 <u> </u> 液は混濁しても僅かである。
チペピジンヒベンズ酸塩錠	1156、左	↑ 4	定量法 本品 20 個以上をとり、その質量を精密に量り、粉末とする、 <u> </u>	定量法 本品 20 個以上をとり、その質量を精密に量り、粉末とする、 <u> </u>
L-乳酸ナトリウムリンゲル液	1313、右	↑ 23	Sodium L-Lactate Ringer's Solution	Sodium L-Lactate Ringer's Solution
フィルグラスチム(遺伝子組換え)注射	1457、右	↑ 7	無菌 (4.06) メンブ <u>ラ</u> ンフィルター法により	無菌 (4.06) メンブ <u>レ</u> ンフィルター法により試

液			試験を行うとき、適合する.	験を行うとき、適合する.
ブスルファン	1487、左	↑ 25	水酸化ナトリウム試液 5 mL を加え、	水酸化ナトリウム試液を 5 mL を加え、
ペルフェナジンマレイン酸塩錠	1637、右	↑ 5	本品を粉末とし、	本品は粉末とし、
マクロゴール 1500	1683、右	↑ 6	洗液はろ液に <u>合</u> わせ、	洗液はろ液に <u>合</u> せ、
メダゼパム	1722、右	↓ 15	(4) 本品に <u>つ</u> き、	(4) 本品に <u>付</u> き、
モンテルカストナトリウム錠	1771、右	↓ 18	ピーク面積 A_T 及び A_S を測定する.	ピーク面積 A_T 及 A_S を測定する.
レセルピン	1842、右	↓ 6	液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充填する.	液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充填 <u>て</u> んする.
ロサルタンカリウム	1874、左	↑ 22	液体クロ <u>ト</u> グラフィー 〈2.01〉	液体クロ <u>ト</u> マグラフィー 〈2.01〉

4. 医薬品各条 (生薬等)

該当箇所	頁、左右	↓/↑、行	正	誤
バクモンドウ	2061、右	↑ 2	(2) ヒ素 〈1.11〉 本品の中切 1.0 g をとり、第 4 法により検液を調製し、試験を行う。ただし、標準色の調製にはヒ素標準液 5.0 mL を用いる(5 ppm 以下). (3) 細根部 本品は、異物 〈5.01〉 に従い試験を行うとき、細根部 1.0%以上を含まない.	(2) ヒ素 〈1.11〉 本品の中切 1.0 g をとり、第 4 法により検液を調製し、試験を行う。ただし、標準色の調製にはヒ素標準液 5.0 mL を用いる(5 ppm 以下).
ハッカ油	2067、右	↓ 26	エタノール(95)に溶かして正確に 100 mL とする. <u>こ</u> の液 10 mL を正確に量り、	エタノール(95)に溶かして正確に 100 mL とする. <u>こ</u> の液 10 mL を正確に量り、
ブシ	2079、左	↑ 10-11	5 <u>μ</u> m の液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充填する.	5 の液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充填する.

5. 参考情報

該当箇所	頁、左右	↓/↑、行	正	誤
原子間力顕微鏡によるナノ粒子のサイズ及び形態解析法 〈G1-9-182〉	2577、右	↑11	更に短 <u>径</u> ／長径比を用いることで	更に短 <u>経</u> ／長径比を用いることで
バイオアッセイ 〈G3-18-190〉	2628、左	↓1	利用されることが多い、 <u> </u>	利用されることが多い、 <u> </u>
表面プラズモン共鳴法 〈G3-10-170〉	2630、右	↓6	③2種のアナライトがリガンドに競合的に結合するモデル、 <u> </u> ④親和性の異なる二つの結合部位をもつリガンドに1種類のアナライトが結合するモデル、	③2種のアナライトがリガンドに競合的に結合するモデル④親和性の異なる二つの結合部位をもつリガンドに1種類のアナライトが結合するモデル、
酵素免疫測定法 〈G3-11-171〉	2632、右	↓3-4	<i>B</i> : EC ₅₀ (IC ₅₀)における傾き <i>C</i> : EC ₅₀ (IC ₅₀)	<i>B</i> : EC 50 (IC 50)における傾き <i>C</i> : EC 50 (IC 50)
生薬等の定量指標成分について 〈G5-2-170〉	2698、左	↑7	この加工方法の違いによっても、	この加工方法の違いよっても、
製薬用水の品質管理 〈GZ-2-181〉	2743、右	↑3	(iv) 開封直後からヒト及び試験室環境などによる汚染又は水質変化が急速に進むことを前提として、	(iv) 開封直後からヒト及び試験室環境など等による汚染又は水質変化が急速に進むことを前提として、

該当箇所：日本薬局方収載生薬の学名表記について 〈G5-1-182〉

頁	生薬名	正				誤			
2691	カンテン	カンテン	マクサ(テングサ) <i>Gelidium elegans</i> Kuetzing	<i>Gelidiaceae</i>	<i>Gelidiaceae</i> [#]	カンテン	マクサ(テングサ) <i>Gelidium elegans</i> Kuetzing	<i>Gelidiaceae</i>	<i>Gelidiaceae</i> [#]
			その他同属植物				その他同属植物		
			諸種紅藻類 (<i>Rhodophyta</i>)				諸種紅藻類		
2694	センブリ	= <i>Swertia japonica</i> (Schult.) Makino				= <i>Swertia japonica</i> (Shult.) Makino			
2695	トウジン	ヒカゲツルニンジン				ヒカゲツルニンジン			

2695	トラガント	トラガント	<i>Astragalus gummifer</i> Labillardière = <i>Astragalus gummifer</i> Labill.	<i>Leguminosae</i>	<i>Leguminosae</i> / <i>Fabaceae</i>	トラガント	<i>Astragalus gummifer</i> Labillardière = <i>Astragalus gummifer</i> Labill.	<i>Leguminosae</i>	<i>Leguminosae</i> / <i>Fabaceae</i>
		その他同属植物							
2697	ボクソク	ミズナラ <i>Quercus mongolica</i> Fischer ex Ledebour var. <i>crispula</i> Ohashi = <i>Quercus mongolica</i> Fisch. ex Ledeb. var. <i>crispula</i> (Blume) Ohashi				ミズナラ <i>Quercus mongholica</i> Fischer ex Ledebour var. <i>crispula</i> Ohashi = <i>Quercus mongholica</i> Fisch. ex Ledeb. var. <i>crispula</i> (Blume) Ohashi			
2697	ユーカリ油	その他近縁植物				近縁植物			